



114
A1579



豫算決算上呈公布ノ儀ニ付當課ノ意見ヲ上
 申シ高裁ヲ仰クノ議
 一 明治十年度ノ豫算表ヲ太政官へ御上呈ノ際即チ去
 ル十二月中既ニ検査局ニ於テ該表ヲ製定シ大藏卿
 ノ上申文其他例言及ヒ公布スヘキ等悉皆取調同
 局ヨリ本局へ上呈セリ抑モ豫算表ノ如キハ検査局
 之カ調理ヲ為シ大藏卿ニ對シテ其事由辨明等ヲ附
 スルハ固ヨリ當然ノ儀ナレ氏同局ニ於テ大藏卿ノ
 報告文ヲ編成上呈シ當課ヲシテ始終之ニ干涉セシ
 メサルカ如キハ同局意向ノアル所ヲ知ラズ然リ而
 シテ豫算表及ヒ上申文并例言等ノ改良アルニ當テ
 始メテ閣下ヨリ當課ニ下付セラレタルナリ若シ此
 ノ改良ノ舉微リヤハ當課ハ始終関リ知ラサリシモ

大正十一年四月
大隈侯爵邸寄贈



知ルヘカラス是レ當課ノ解セサル所ナリ
一明治八年度畧定決算表現今御上呈可相成ニ付該表
ヲ製定シ其増減盈縮ノ事實ヲ大藏卿ニ對シテ辨明
スルハ當然ノ理ナレバ検査局ニ於テ大藏卿報告書
ノ體裁ヲ以テ太政官へ上申文其他例言等悉皆取調
直チニ本局へ上呈セリ右ハ閣下第一回決算ノ報告
即チ年報ノ精神主務タル大部分ナルニ當課ヲシテ
之ニ着手セシメサルヲ前條豫算表ノ時ト同一轍ニ
出タリ是レ當課ノ解セサル所ナリ
一前條豫算表ハ改良ノ際當課へ下付セラレ、ヲ以テ
當課主トシテ再整理上呈ノ順序ヲ了セリ依テ這
回ノ決算表ヲ再整スルカ如キモ亦豫算表ト同シク
當課ノ主務タルヘキハ勿論ニレテ即チ大藏卿第一

回決算報告書タルヲ以テ各件ニ就キ詳細ニ説明論
辨ヲ附セント欲シ租税國債検査ノ各局ニ向テ其主
任ニ質問スルニ箇條書ヲ以テレ當課干涉スルノ翌
日之ヲ各局へ送付シテ其答辨ヲ要ス乃チ租税國債
ノ兩局ハ日限ヲ期シテ其説明書ヲ送付スルノ約ヲ
為スト雖モ獨リ検査ノ一局ハ其管理タル各官廳經
費ノ増減等ニ就キ之カ答辨ヲ好マス依テ百方論議
ヲ費スト雖モ他局ノ如ク其答辨書ヲ送付スルニ至
ラス抑モ何等ノ主意タルヤ當課ノ解セサル所ナリ
一右ノ次第ナルヲ以テ已ムヲ得ス閣下へ口頭相伺ノ
末各局課委員ヲ作ルノ順序ニ至レリ而シテ當課ハ
各委員ノ答辨ヲ得テ第一回決算報告書ヲ製定シ太
政官へ上呈ノ順序ヲ為スノ本務タルヘキニ検査局

ニ於テ該報告書再整ノ順序ヲ專為セリ依テ會同ノ
席ニ於テ職掌ノ大體ヲ論辨スト虽モ検査局長ハ該
決算報告書編成總理ノ權アルヲ以テ當課ノ起稿ヲ
許サス是亦何等ノ主意タルヤ當課ノ解セサル所ナ
リ

一 大藏卿ヨリ一度ニ該決算報告書ヲ頒布セラル、上
ハ諸官廳及ニ在留各國公使等ヨリ右報告書ニ就キ
種々ノ質問ヲ來ストハ必然ナルヘシ従来年報月報
及ニ豫算表ニ就キ官廳又ハ公使等ヨリ質問ヲ受レ
ハ當課業ニ既ニ之カ答辨ノ責ニ任セリ然ルニ該決
算報告書ノミ検査局ニ於テ其責ニ任スルカ如シ蓋
シ租税國債検査各其權限主務ノ在ル有リ獨リ検査
局ハ大藏卿ノ報告書ヲ作り又其答辨往復事務ヲモ

併セテ管理スルカ如キハ當課ノ最モ解セサル所ニ
シテ他ノ局課ニ於テモ何等ノ理由アルヤヲ解セサ
ルヘシ且當課該報告書ノ主任タルヲ得スシテ他日
内外ヨリノ質問ニ向テ答辨ノ責ニ任スルハ甚タ難
事ニシテ不都合ナルヘシ

一 右ノ外這回ノ決算報告書ニ付其全體及ニ順序等ニ
於テ偶靴ノ憾ナキニ非スト虽モ即今期日切近シテ
餘裕ナキヲ以テ茲ニ繰々ノ言論ヲ要マス偏ニ請フ
將來右等ノ如キ領會シ難キ事實ノ撞着ヲ來スナカ
ラシカ為メ豫シノ事務章程上ノ權限區域高裁ノ上
御達アラントヲ誠惶謹言

明治十一年二月七日

大藏權少書記官石橋重朝
大藏少書記官深江順暢

大藏偏大隈重信殿

(Faint bleed-through text from the reverse side of the page, mostly illegible due to fading and the bleed-through effect.)

